

9月全学連大会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2014年8月5日
No.211

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

あらゆる弾圧・反動ぶち破り 全学連大会への三桁結集を!

全学連書記長・坂野陽平

「大学に入ってから初めて、『生きている』という実感がした」—首都圏K大学の学生は、「7・6早稲田カウンターデモ弾圧」に抗議するため、自らの大学でピラマキに決起した。K大は全国でも有名な私立大。大学カリキュラムに沿って勉強さえしていれば、何の苦もなく大企業に就職したり、官僚になったりできたかもしれない。しかし、原発事故や秘密保護法制定、集团的自衛権行使容認の閣議決定を目の当たりにする中、彼は自らの生き方を問い直した。そして、A君とは面識もなかったが、弾圧への怒りに燃えて立ち上がった。この事例が示すように、学生は目の前の狭い「個人的利害」だけでなく、「ありとあらゆる専横と圧制に反応」(レーニン)し、まだ見ぬ仲間のためにも声を上げることができる存在だ。この学生の無限の可能性にかけきった時、国境をこえた団結をつくり、戦争を止めることはできる!

首都圏の大学では「7・1」を契機に感動的決起が始まり、全学連大会への参加も続々と決まっている。首都圏B大学の女子学生は、T駅で集团的自衛権反対の署名に応じた。そして、そのまま署名用紙を持ち帰り、大学で100人超の仲間から署名を集めた。後日、『全学連大会招請状』を読み



合わせる中で、「集团的自衛権は絶対に許せない」の一点で大会参加を決めた。

「7・1閣議決定」を受けて、安倍政権への激しい怒りが溢れている。青年・学生の無数の決断、決起が生まれている。これらの怒り、決断、決起は、今秋から来春通常国会における集团的自衛権関連法案審議に向けて、さらに燃え上がっていく。全国のあらゆる大学から全学連大会に結集し、今秋～来春の「安倍たおせ!」の闘いの突破口を切り開こう。全学連大会への100人結集に向けて、全国キャンパスで「100通りのドラマ」を巻き起こそう。



さらに、全学連大会大結集へ何点か訴えたい。

第一に、安倍政権打倒へ、今秋の「戦争と民営化」に反対する大運動を巻き起こそう! 動労千葉・田中委員長は「11月集会を、民営化と戦争に反対し、闘う労働組合を甦らせる大集会にしよう」と訴えている。末期的危機にあえぐ資本主義は「外への侵略戦争」と「内への階級戦争」に延命の道を託している。「7・1集团的自衛権行使容認」とは、このような情勢に追いつめられた安倍政権が、世界市場の分割戦に突入せざるをえない危機の表現としてある。これと一体で行

【武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第1回公判】

8月13日(水)13時半～ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

【全学連第75回定期全国大会】

◆安倍政権たおそう! ◆全国大学に自治会を!

◆法大文化連盟委員長・武田君を取り戻そう!

9月3日(水)～4日(木) 東京・浜町区民館にて

参加費用=1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



われようとしているのが、自治体・教育現場をはじめとする社会の全面的民営化(大独占資本による「私物化」)であり、大学に引きつけて言えば「教育の民営化」攻撃だ。まさに全国大学が、法大のように「営業権(=金儲け)」と「施設管理権(=学生自治の否定)」を大学の至上価値にしていこうということだ。

「戦争と民営化」と闘い、それを打ち砕くことは、もはや「内と外への戦争」でしか生き延びられないこの社会を根本からひっくり返す大きさを持っている。「戦争と民営化」という究極の団結破壊攻撃と闘うことで、社会を根本から変える団結を生み出すことはできる！

この立場から、東北大学明善寮廃寮阻止闘争を闘おう。廃寮化＝PFI化攻撃こそ、「7・1情勢」下での学生自治破壊攻撃であり、全社会での民営化攻撃の突破口であり、明善寮攻防を切り口に、闘いは日就寮問題、サークル仮棟問題へと必ず広がっていく。明善寮問題は明善寮生だけの問題ではない。明善寮廃寮阻止闘争を全階級的立場で推進した時、必ず学生の決起をかちとることはできる。

第二に、本大会を契機に全国大学ゼネストに向けた真剣な論議を開始したい。安倍政権は戦争国家体制構築の突破口を「大学改革」に定めている。すでに「東大での軍事研究解禁が是か非か」が社会的テーマとなり、そもそも東大や広大の経営協議会には、原発と武器生産・輸出を行う三菱重工業元会長・佃和夫が居座っている。大学の現場で進む「戦争と民営化」に無関係な学生は一人もいない。急速に学生の意識の統一は進んでいく。全国に張り巡らされる無数の拠点こそが、安倍政権を追いつめていく。学生の団結の最大・最高の発揚こそストライキだ。ストライキを行う中でこそ、学生は「大学の主人公」としての自らの存在、さらには大学・学生の持つ社会的大きさを自覚で

きる。この立場から本大会では、「10月闘争」をはじめとする闘いの構想、学生運動のビジョン、「夢」をぶつけ合おうではないか。

第三に、「決定的な一人」を生み出し、守り、その闘いを発展させよう。「戦時下」では、反動の側から一人の仲間を守りきれぬかどうかが対決の核心点となり、戦争を許すか否かの最大の攻防点となる。現在、広大自治会の闘う仲間にかけている大学当局・広島県警公安・親による監視体制、8・6ヒロシマ闘争への参加妨害は、まさに「7・1情勢」下で起きている事態であり、本質的に「武田君起訴一赤嶺君処分」と一体の攻撃だ。広大自治会の仲間はこの時代認識の下、すでに全学的反撃にうって出ている。あらゆる攻撃を「一つの絵図に」し、安倍打倒に束ねあげていこう。

第四に、全学連大会100人結集に向けて問われていることは、われわれの内側にある「すみ分け」を粉碎していくことだ。怒りに燃え新たに戦列に加わってきた仲間たちは、これまでの「常識」や「桎梏」とは無縁であり、本気で勝利を求めている。これらの思いを真っ向から受け止め、われわれの内側にある「すみ分け」を取り払い、愚直に勝利にむけて闘っていこう！

最後に訴えます。6～7月闘争を通して、私たちは「武田君・赤嶺君のように闘う」無数の人格を生み出してきた。この道を断固進もう！ 9月全学連大会の大結集を突破口に、10月中央闘争の成功から11月集会1万人結集へ！



J R御茶ノ水駅頭で8・17大結集を訴える内海佑一君(無罪戦士)

「法政大学5・13弾圧」に抗議し、 武田雄飛丸君の即時釈放を求めます



2014年5月13日、法政大学文化連盟委員長である武田雄飛丸君が「器物損壊」の容疑で不当逮捕され、6月3日に「暴行」でっち上げで起訴されました。全国学生のリーダーとして闘ってきた武田君に対する逮捕・起訴は、集団的自衛権の行使容認をはじめ戦争に突き進む安倍政権のもとでまきおこる学生の怒りと運動をつぶすための政治弾圧にほかならず、絶対に許すことはできません。現在も完全黙秘・非転向を貫いて不当な長期勾留と闘う武田君を、ただちに釈放することを求めます。

氏名	学部・学年	メールアドレス

武田君奪還署名に全国で取り組もう！

<署名呼びかけ責任団体>
法政大学文化連盟 ブログ: <http://08sanren.blog25.fc2.com/>
メールアドレス: hosei08@yahoo.co.jp

取り扱い団体/個人



東北大学学生自治会が「明善寮廃寮反対」を当局に申し入れ(8月1日)

【当面する行動方針】

● “戦争・原発・首切りの安倍をともに倒そう!” 8・17大集会

～国境を越えた団結で戦争を阻止 福島と団結して全原発廃炉 労働者の団結で社会を変える～

8月17日(日) 正午～ 日比谷公会堂(東京・日比谷公園内)にて